



@家族☒
＜アットファミリー＞☒

「夢」☒
作詞・作曲 土生洋一郎

どんな事も耐えられると 負けるはずは無いと信じていた
耳をすまして心を広げると全てが素晴らしく見えた
いつもよりちょっと寂しいな これが大人に近づいた事だと
少しだけ意地を張ってみると孤独だった自分に気づいた

夕焼けは何故悲しいのだろう いつものように真っ暗な夜が訪れた
喜びはいつも夜空に彷徨い 悲しみはいつも心に静かに留まる

※ 寒空の遥か彼方いつまでも睨んでた
うつむいて溜息をつき指で口唇をなぞる
立ち止まっている今を駆け抜けるとすれば
迷いの日々の中に夢への道ができる

振りかえらずに走り続けた 大事なものを確かめることもしないで
つまづく事に気付かないでいた俺は今まで愚か者だった

心から信じてきたものに いつの間にか裏切りが見えて
流した涙の数も覚えずに 弱さと強さの違いをゆっくり覚えていた

苦しみから逃れられず自分と戦った
足りない物を考えて心に指で描いた
震えていた指をなめて心を取り戻して
迷いの日々の中で夢への道を走る

※REPEAT